

共産党の質問で保育料の負担軽減

非課税世帯は半額に

子ども子育て支援新制度により、昨年4月に保育料が改定されました。伊勢崎市は所得の少ない住民税非課税世帯の保育料が高く、6月議会一般質問で北島議員が他市の状況も示し軽減を求めました。

12月議会で保育料の改定が提案され、来年度から住民税非課税世帯の保育料は3000円から1500円に下がり、旧5市では無料の高崎市に次いで低い額になります。

非課税世帯の3歳未満児の保育料 (県内旧5市比較)

伊勢崎市	今年度 3,000円	来年度～ 1,500円
前橋市	1,800円	
高崎市	無料	
桐生市	1,900円	
太田市	2,300円	

未婚の父母に寡婦 (夫)控除みなし適用

また未婚の母(父)子世帯にも寡婦(夫)控除のみなし適用を認めるよう、一昨年3月の予算質疑で長谷田議員が取り上げ、要望しました。

来年度から未婚の母(父)子世帯の保育料を決める時には、算定の基礎になる住民税を寡婦(夫)控除が適用されたものとみなして再計算し、保育料軽減を図ることになりました。

昨年度実績から、非課税世帯の児童200人、みなし控除で52世帯ほどが、それぞれ軽減対象になると推計されます。



市民アンケートの要望実る!!

あずま南小の浸水対策 抜本改善

あずま南小の北から東に流れる用水路は、上流で宅地開発が進んだため集中豪雨で氾濫し、学校周辺の道路や住宅が浸水する事態になっています。

一昨年、共産党市議団の市民アンケートに寄せられた要望を取り上げ、一般質問で改善を求めました。また、地域住民の皆さんからも、市に要望が出されてきました。



豪雨で冠水のため休校になったあずま南小



用水路の浚せつや流れの勾配を変えるなど一時的な対応策がとられてきましたが、その後も集中豪雨で氾濫。昨年は、とうとう学校が休校になる事態まで起き、抜本対策を求めています。

このほど、学校の西側にも排水路を新設し、東西両方から学校を迂回させ排水量を増やして氾濫を防ぐ、という抜本対策が決定となりました。

来年度から3年計画で学校の南までの排水路工事を行い、その後、西側に暗渠(あんきょ)の排水路もつくるという計画です。

地元の説明会を行い、来年度から用地買収も始め、順次整備を進めていきたいと報告がありました。

質問通告したら価格1割軽減!?

市民病院では、昨年度60万³のLPガスを、1億6千万円で競争の無い随意契約により、購入しました。輸入価格が大幅に下落したのに、270円/³mで、年度途中の価格改定はありませんでした。価格下落が続いている今年度も、4月の改定時に6%下げただけでした。

ところが、12月議会での党市議団からの質問通告を受け、「12月から255円/³mを230円/³mに改定しました。」と、あわてて1割値下げの途中改定が実施されました。

「安定供給のために、タンクローリーを保有する会社1者とずっと随意契約してきた。」といいますが、しかし、実際には県外メーカーの大型ローリーで直接納入しており、ローリー所有のメリットは明確ではありません。

全国LPガス協会の発表では、2014年4月と2015年10月の卸売価格は、トン当たり148円から108円に27%も下がっています。

赤字解消のため、血眼になって職員に経費削減を求め、患者単価を上げる苦勞をしながら、このような対応は大変不思議なことです。

無料生活法律相談会

毎月第4月曜日
午後6時より
市議会議員と弁護士が
応談します
お申し込みは
北島元雄市議

090-4065-2120

長谷田公子市議

070-5564-6271

戦争法(安保法制)廃止請願廃案に



毎月3日、澤地久枝さんの呼びかけにより全国で行われるアピール行動に市議団も参加

前議会で継続審議になった「戦争法(安保法制)廃止の意見書提出を求める請願」が総務委員会再審議されましたが、「安全保障は国の専管事項」と委員全員が賛成して、審議未了・廃案で葬り去ってしまいました。

沖縄など米軍基地があるところだけでなく、伊勢崎市上空も横田基地に配備になる米軍オスプレイの飛行訓練空域に入っており、「安全保障は地方政治と関係ない」などと言ってはいられません。

戦争法廃止の声をあげ、「国民連合政府」を実現しましょう。戦争法廃止の2000万署名に、ぜひご協力ください。